

2020年最初のメールマガジンをお送りします。今年もみんなで力を合わせて編集してまいりますので、ご愛読のほどよろしくお願いいたします。

現在会員登録数 3,228 人さま。次号は 2 月 20 日発行の予定です／

＋-----◇◆◇ 目次 ◇◆◇ -----＋

【1】お知らせ

【2】コラム

《1》この本読んだ？

《2》イーハトヴ周遊 宮沢賢治の童話を読破する

《3》子どもの本の珠玉のことば

《4》行って来ました！

【3】全国のイベント紹介

【4】プレゼント

＋-----＋

■-----■  
【1】お知らせ

● 連続講座「目で見えるイギリス児童文学の歴史」

講師が所蔵するイギリス児童文学に関わる貴重なコレクションを紹介していただきながら、イギリスの子ども本の歴史についてご講演いただきます。

講師：三宅興子（当財団特別顧問、梅花女子大学名誉教授）

日時：令和2年1月25日（土）、2月22日（土）、3月15日（日）

各回 午後2時～3時30分

場所：大阪府立中央図書館 2階大会議室（東大阪市荒本北）

内容：

第1回「最初期のイギリスの子ども本から始めて」

第2回「子ども本の「第一次黄金時代」」

第3回「20世紀イギリスの子ども本」

定員：各回 50名（申込先着順）

参加費：各回 1,000円

主催：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

助成：子どもゆめ基金助成活動

お申し込み、詳細は ↓

[http://www.iiclo.or.jp/03\\_event/02\\_lecture/index.html](http://www.iiclo.or.jp/03_event/02_lecture/index.html)

● 『ひとりでよめたよ！幼年文学おすすめブックガイド200』（評論社）

刊行記念トークイベント

编者である当財団宮川理事長と土居理事・総括専門員が、ブックガイドの編集意図や幼年文学の魅力について話し、具体的な幼年文学作品を紹介します。

日時：令和2年2月1日（土） 午後3時～4時30分

場所：MARUZEN&ジュンク堂書店梅田店 7階 salon de 7

定員：50名（予約優先） 参加費：無料

主催：MARUZEN&ジュンク堂書店梅田店

協力：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

ご予約、詳細は ↓

[https://honto.jp/store/news/detail\\_041000041332.html?shgcd=HB300](https://honto.jp/store/news/detail_041000041332.html?shgcd=HB300)

● 寄付金を募集しています

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからのご寄付を募っています。寄付金は、当財団が行う講座・講演会など、さまざまな事業経費に充てさせていただきます。ぜひ、ご協力いただきますようお願いいたします。

お申し込み、詳細は → <http://www.iiclo.or.jp/donation.html>

● 当財団公式 Twitter → [https://twitter.com/IICLO\\_News](https://twitter.com/IICLO_News)

■ ----- ■  
【 2 】 コラム  
■ ----- ■

\*\*\*\*\*

《 1 》 この本読んだ？ Yasuko's & Satoko's Talk

\*\*\*\*\*

『希望の図書館』 リサ・クライン・ランサム/作 松浦直美/訳 酒井駒子/  
装画 ポプラ社 2019年11月 対象年齢：小学校高学年以上

あらすじ：1946年の夏、母を亡くしたラングストンと父は、アメリカ合衆国南部のアラバマを出て北部シカゴで住み始める。ラングストンは学校で「南部のいなかもん」といじめられるが、迷って入った図書館で自分の名前と同じ詩人、ラングストン・ヒューズの詩集を見つけて詩に夢中になる。そして、父が祖母のお葬式に行っている間に、母の父への手紙を読み、自分の名前の由来を知る。

S：最近、児童書の中で「読書」の意義を物語として語る本が増えていますが、その中でもこの本は、人にとっての本の意義、本を読むことの意義、文学を読むことの意義をわかりやすく伝えてくれている物語だと思いました。

Y：ラングストンは、ラングストン・ヒューズの詩に出合うことによって、心の中に自分だけのスペースを見つけます。

S：それを可能にしてくれたのが、図書館。図書館には、魅力的な司書がいて、ラングストンを図書館に招き入れ、図書館の意義を伝え、見守ってくれます。図書館は人と本を結びつける専門職の司書がいてこそ機能するということが実感できました。

Y：この本には、ラングストンと司書だけでなく、文学は人と人とを結びつけるということも書かれています。

まずは、父親。文学に縁がなく、本を読むことに否定的な姿勢を見せていた父が、ラングストンに詩を朗読してもらうことで、二人の関係が変化する瞬間は心に響きました。

S：そして友だち関係があります。ラングストンは「南部のいなかもん」といっていじめられ、いじめっこに本を破られます。破れたページを捨ててくれたクレムに対して、ラングストンは詩を読むと「ぼく以外のだれかが、ぼくのことをわかってくれている感じがする」と言い、クレムは「お前が読んでいる詩は、自分のなかで感じることをすべて、自分の外に出す方法なんだな」(p. 184)と言います。強く心に残りました。

Y：この作品には、詩の引用があり、他の黒人作家の名前も紹介されます。黒人文学および詩の入門書としても読める作品だと思いました。そして、

1946 年を舞台にしながら、黒人差別問題、貧困、シングルペアレントなど現代と通じる問題を描いている点やラングストンという名前が付けられた由来を知るといふ謎解きの要素も興味深かったです。

\* 今回のゲストは当財団特別専門員小松聡子さん (S) です。

\*\*\*\*\*

《2》イーハトヴ周遊 宮沢賢治の童話を読破する

\*\*\*\*\*

第 53 回「十力の金剛石」

いばらを静かにはずす

前回(当メルマガ NO.112)の「度十公園林」では、度十が亡くなって 20 年近くのちに、若い博士が「ああ全くたれがかしこくたれが賢くないかはわかりません。ただどこまでも十力の作用は不思議です。」とあって、度十が残した林を「度十公園林」と名づけて保存することを提案します。「十力」とは仏のそなえる十種の智力のことですが、この「十力」を金剛石(ダイヤモンド)のイメージで象徴的に描き出したのが「十力の金剛石」です。

むかし、ある霧の深い朝、王子と、同じ年の大臣の子は、虹の脚もとにあるルビーの絵の具皿をもとめて走り出します。近づこうとすると、美しい虹は逃げてしまうので、森の奥へと入っていきます。蜂雀たちが歌うように、霧は雨になり、雨はいろいろな宝石にかわります。それでも、りんどうや、うめばちそうや、野ばらは、かなしがって歌うのです。それは、十力の金剛石がまだ来ないからでした。——「十力の金剛石はきょうも来ず／めぐみの宝石(いし)はきょうも降らず、／十力の宝石の落ちざれば、／光の丘も まっくろのよる。」十力の金剛石は、「春の風よりやわらかくある時は円くある時は卵がた」だといいます。

「来た来た。ああ、とうとう来た。十力の金剛石がとうとう下った。」——花たちがさけんで、世界は一変します。

〈碧いそら、かがやく太陽、丘をかけて行く風、花のそのかんばしいはなびらやしべ、草のしなやかなからだ、すべてこれをのせになう丘や野原、王子たちのびろうどの上着や涙にかがやく瞳、すべてすべて十力の金剛石でした。〉

作品を「性急な主人公の王子と、それを追いかける語りのややせわしない性急さ。」とも「典型的な成長物語」とも評したのは天沢退二郎です。森に入って行く王子の着物をいばらがつかんで引きとめようとしたとき、王子は、めんどくさくさくなって剣を抜いて小藪を切ってしまいます。ところが、十力の金剛石が下ったあとの王子たちは、草の上にひざまずき、王子は、足に引っかけた、いばらをかがんで静かにとりはずしたのです。(馬車別当)  
(本文の引用は、新潮文庫版『ポラーノの広場』によりました。)

\*\*\*\*\*

《3》子どもの本の珠玉のことば 7

\*\*\*\*\*

「星がくだけで、さーっと、水がながれおち、カニたちは、きらきら光る水

といっしょに、下の下の海の上へと、おちていきました。ロッコとレッコも、青い青い海の中に、どっぴーんと、おっこちました。」

(『いたずらラッコのロッコ』神沢利子/著 長新太/絵 あかね書房 1968年3月 p17)

これは、『いたずらラッコのロッコ』の第一話「イタズラッコとおなべの星」からの引用です。いたずらなラッコの子どもロッコが友だちのレッコと天の大男につかまって逃げ出す場面です。天の大男はカニのスープを作るために大きなおなべで海の水ごとカニをすくいあげたのですが、ロッコとレッコは「おやたちからはなれて、うろうろしとった」ため、いっしょにおなべの中に入ってしまったのです。

ロッコは知恵を絞ってお鍋の底にある8つの星のうちのひとつを動かし、お鍋に穴をあけて、そこから逃げ出します。引用は、その様子を描写しています。空からカニと一緒に海に落ちる様子が、オノマトペを使って表現されており、読者はロッコの安堵感を共有することができます。

私は幼いころこの本が大好きでした。ラッコのロッコということばを何度も舌の上でころがして遊んでいたことを覚えています。また、ロッコがかあさんを独り占めしている弟に嫉妬する気持ちや、いたずらをするとう天の大男に連れていかれるとかあさんやおじいさんに言われて反発する気持ちに共感しました。

海に浮かびながら、星を見て「空には、あんなにたくさん星があるんだもの。ぼく、ひとつ、とってきたいなあ。」と言ったロッコは、最後に、星のかけらを手にします。大人に知られていない秘密を手にした喜びが伝わってきます。空に大男がいて、底に星がついている大きなおなべを持っているという情景も、長新太の挿絵とともに忘れられないイメージとして私の心に残っています。(Y)

\*\*\*\*\*

《4》 行って来ました！

\*\*\*\*\*

グランフロント大阪北館 ナレッジキャピタル イベントラボで、2月24日まで開催されている「PIXARのひみつ展 いのちを生まだすサイエンス」に行ってきました。

「トイ・ストーリー」「モンスターズ・インク」などのピクサー・アニメーション・スタジオのCG(コンピュータ・グラフィック)アニメーションがどのようにつくられるのか、「モデリング」(キャラクターの形をつくる)、「アニメーション」(キャラクターに演技をつける)、「レンダリング」(最終的な映像の仕上げ)などの8つの工程に分けて、それぞれに映像やパネルでの解説と体験コーナーが設置されています。

コンピュータに緻密にプログラミングされる数学的な各工程から、本物のように動く滑らかなアニメーション映像ができるまでがよくわかります。「リギング」という工程では、キャラクターの骨や関節や筋肉を設定することでリアルな体の動きが表現されます。体験コーナーでは、「トイ・ストーリー」に出てくるジェシーの眉やまぶたの動きを設定して表情を変化させてみる事ができました。「セット&カメラ」では、同じ背景でもカメラの位置や角度によって見え方が違うことが解説されていて、立体的に設置されている草むらと木のオブジェを虫の視点のカメラで見ることができました。「ライティン

グ」は照明です。例えば、海の表面から光が差し、海の深さや奥行きを感じられるようになるのはライティングの工程によることが解説されていました。「カールじいさんの空飛ぶ家」の家の窓から入る太陽光の色や方向、ランプの明るさなどの変化を試してみることができました。

どの工程にも「ピクサーで働く人たち」として、自分の担当する仕事へのこだわりや、ピクサーで働くこととなったきっかけなどを語っているインタビュー映像がありました。コンピュータの世界の裏側に、アニメーションの物語に夢中になった子ども時代や数学好きの人がいることがわかって、親しみを感じることができました。(K)

P I X A R のひみつ展 <https://www.tv-osaka.co.jp/event/pixar/>

### 【3】全国のイベント紹介

#### ● 大阪府子ども文庫連絡会 公開講座

「これからの学校教育と読書・学校図書館活用」

講師：鎌田和宏（帝京大学教育学部初等教育学科教授）

日時：2月18日（火）午前10時～12時 講演会 午後1時～3時 交流会

会場：大阪市立中央図書館 5階大会議室（大阪市西区北堀江）

定員：250人 交流会は60人（当日先着順、申込み不要）

参加費：無料 資料費：100円

主催：大阪府子ども文庫連絡会 共催：大阪市立中央図書館

上記イベントの詳細およびその他の講座・講演会、展示会、公募情報については、こちらからご覧ください。↓↓

[http://www.iiclo.or.jp/03\\_event/04\\_other/index.html](http://www.iiclo.or.jp/03_event/04_other/index.html)

※イベント情報をお送りください。当財団HPに掲載させていただきます／

### 【4】プレゼント

今号のコラム《1》「この本読んだ？」で紹介しました『希望の図書館』を1名の方にプレゼントします。ご希望の方は、メールで件名「メルマガ NO.113 プレゼント希望」とし、(1)お名前 (2)郵便番号・住所 (3)電話番号 (4)メールアドレス、よろしければ (5)このメルマガのご感想をお書きのうえ [office@iiclo.or.jp](mailto:office@iiclo.or.jp) にお送りください。

締切は2月11日（火）、当選発表は発送をもって代えさせていただきます／

編 | 集 | 長 | の | つ | ぶ | や | き |

— | — | — | — | — | — | — | — | — |

今年はオリンピック・パラリンピックイヤー。「健康第一」を目標に掲げ、心身の鍛錬にチャレンジしたいと思っております。何人かの友人らのように、スポーツジムに通ってみるのもよし、マラソンをめざしてまずはジョギングから始めてみるのもよし。今年は、そんなきっかけを見つける年にしたいですね。(TA)

みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください。下記メールアドレスまでお

願います。

原則として返信はいたしませんのでご了承ください。

●このメールマガジンは、ご登録いただきました皆様に配信しています。

●配信の登録・解除・変更は、

[http://www.iiclo.or.jp/m1\\_magazine/index.html](http://www.iiclo.or.jp/m1_magazine/index.html) パソコンからどうぞ

●このメールの送信アドレスは配信専用です。

●記事の無断転載はご遠慮ください。

-----  
発行：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 <http://www.iiclo.or.jp/>  
〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北 1-2-1 大阪府立中央図書館内  
TEL：06-6744-0581 FAX：06-6744-0582 E-mail：office@iiclo.or.jp  
-----